

神戸市会議員



岡田ゆうじ



2023年3月3日 予算特別委員会

自由民主党神戸市会議員団市政報告

2023. 6

No.46

海と漁業を守る

神戸・垂水は「うみのまち」。豊かな海と、それを支える漁師、漁業関係者の皆様の手で成り立っています。

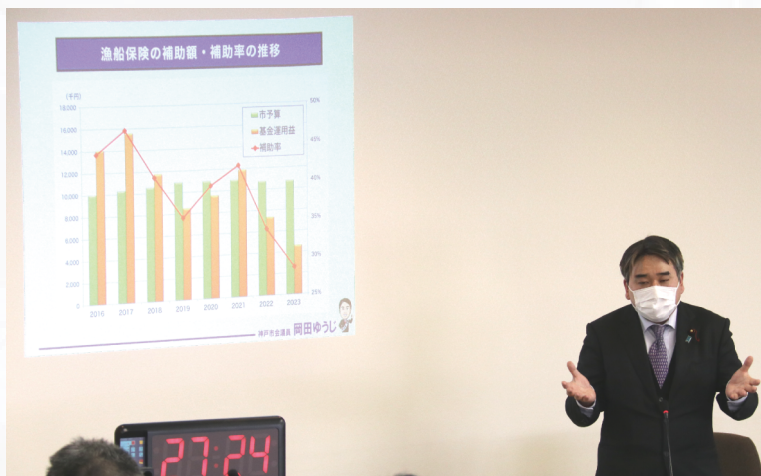
漁業は生き物相手。燃油や資材が高騰する中、毎年の漁獲高は大きく変動し、収入の予測は立ちません。そこで「漁船保険」「漁業共済」という、漁船にまつわる予期せぬ出費や不漁等の事態に備える制度があります。

神戸市もかねてより支援を行ってきましたが、ノリの養殖事業に対してのみであったため、2018年の12月6日の本会議で、私から漁船漁業にも支援するよう求めたところ、翌年より漁船漁業についても漁業共済の加入支援の対象となり、予算は倍増。加入事業者もほぼ倍増しました。

しかし近年、補助率が本来50%であるべきところ、直近の推計値では25%近くまで落ち込んでいたため、改めて海を守る漁師、漁業関係者の皆様の生活と事業を守る保険共済事業へ、本来の満額50%まで支援するよう求めました。

市当局からは「漁業共済及び漁船保険は、漁業の経営の安定のみならず、新たな担い手が安心して漁業に取り組むために必要なもの」と答弁があり、令和5年度より必要予算の確保、補助率の満額確保が約束されました。

かけがえのない母なる海。市政の中でもしっかりと、その重要性を訴え続けて参ります。



漁船保険の補助率の推移データを示し
支援を強く求める岡田ゆうじ

漁船保険・漁業共済の支援拡充

○分化員（岡田ゆうじ） 漁獲高は年によって随分違う。漁業は収入が生き物相手だから読めない。これほど安定してない仕事はない。

そこで、漁船保険と漁業共済という制度がある。しかしノリの養殖は漁業共済について神戸市も補助していたが、漁船漁業に対する漁業共済の支援というのはしてなかった。

2018年の12月6日の本会議で、私から、ノリの養殖業者だけが市の補助があって、漁船漁業へはない、同じ漁業者なのにこの差は一体何なんだと申し上げた。すると当時の岡口副市長が「おっしゃるとおり分かりました」と、漁船漁業についても漁業共済の加入支援の対象としますということで、予算を倍増していただいた。2018年までは18事業者が対象だったのが、翌年から31事業者が漁業共済補助の対象となった。これは本当にありがたいことで、漁業関係者ももちろんだが、私も本当に感謝をしている。

しかし補助率は本来50%。要は本人負担半分、市などからの補助が半分のはずが、最近基金の運用率が非常に悪くて、2023年の推計値では補助率は25%近くまで落ち込む見込み。ということは、漁船保険の4分の1だけ補助が出て、4分の3は自己負担ということになる。そうなると、保険料とか掛金が高くなって「入るのをやめようか」となる。それでは海を守る漁師の皆さんの生活や事業を守ることができない。

ぜひ、補助率を本来の50%に近づける努力をしていただきたい。



岡田ゆうじ

○安岡経済観光局担当局長 委員御指摘のとおり、市の予算等が十分でなくて、近年の補助実績は漁業共済では補助率が20%程度、それから漁船保険では補助率が30~40%にとどまるところ。

委員御指摘のように、漁獲高が減少傾向にあることや、燃油や資材高騰の状況を踏まえると、漁業共済及び漁船保険は、漁業の経営の安定のみならず、新たな担い手が安心して漁業に取り組むためには、我々も必要なものと認識している。

委員御指摘踏まえ、市の補助事業としてしっかりと補助できるよう、早速5年度から制度どおり50%補助ができるように対応したい。

神戸市
経済観光局

実現 「漁船保険・漁業共済」 補助率MAX!

時期：2023年度以降

財源：市補助額 1,147万円増額

補助率：漁船保険 (33.7%→50%)・漁業共済 (20%→30%)

